

# case 01 電気溶接

ものづくりマイスター  
遠藤 保夫さん

派遣先企業  
株式会社サイユーキ



「考える力」を身につけることで  
仕事楽しくなる

## 株式会社サイユーキ

〒981-3501 宮城県黒川郡大郷町大松沢字原屋敷41-1

設立年 平成4(1992)年  
代表取締役 中谷 信夫  
事業内容 工機用機材の製作・整備・レンタル  
従業員数 45名(2019年10月現在)



工機用機材の製作・整備・レンタルなどを手がけ、「社会全体から見れば小さな歯車のひとつでしかないが、未来永劫社会に必要とされる会社でありたい」を企業理念に掲げ、お客様のニーズに応じています。その基本となる社員の技能を向上させるため、全国溶接技術競技会への参加をサポートするなど人材育成に力を入れています。

## ものづくりマイスターの派遣を依頼した理由

溶接業界の第一人者による指導を  
技能向上の道標にしてほしい

### 背景 社外の力を社員の道標に

当社は、溶接をはじめとした有資格者が多数在籍しています。社員たちは、主に実務の中で技能を身につけてきました。ここ数年は、さらなる技能向上のため、組織的な社員教育の整備や研修体制の確立に取り組んでいます。一般社団法人日本溶接協会の巡回技術者指導で遠藤保夫マイスターが当社を訪れ、指導を受けた社員が宮城県溶接技術競技大会で優勝したことをきっかけに、外部の専門家による実技指導が社員の一つの道標になると気づきました。遠藤マイスターから、「ものづくりマイスター事業を活用してはどうか」という提案があり、すぐに宮城県技能振興コーナーを通じ講習を依頼することにしました。

### 効果 指導者育成でも期待以上の成果

遠藤マイスターは、宮城県の溶接業界では誰もが知る第一人者です。今回は新人から上級者まで幅広い社員を対象に実技指導を実施。若手には基礎をしっかりと教え、上級者にはさらなる技能の向上を図るなど、一人ひとりに合った指導をしていただきました。また、受講した社員には後輩に教えることを想定し、指導法も学んでほしいと考えていましたが、期待以上の成果でした。社内での指導は単発で終わることも多いのですが、ものづくりマイスター事業では当社に合ったカリキュラムを組み、継続的に集中して指導を受けることができました。今後も会社全体でさらに技能の高みを目指し、お客様のご要望に応えていきたいと思っています。



株式会社サイユーキ  
取締役社長  
おがたまさのり  
尾形 政則さん



## プログラム内容

実施課題 電気溶接  
目的 半自動溶接に関する技能指導と全国溶接技術競技会へのチャレンジ  
受講対象 社員 5名  
ものづくりマイスター 遠藤 保夫

- 1回目 実技指導の進め方説明など
- 2回目 個々の力量確認及び実技指導
- 3～5回目 個々の課題毎実技指導
- 6～7回目 個々の問題点抽出及び改善指導
- 8～9回目 個々の改善状況確認など
- 10回目 今後の訓練計画(案)作成



## 概要

機械製造に欠かせない電気溶接は、扱う内容が幅広く、学ぶべきことがたくさんあります。今回はそのうちの「半自動溶接」を中心に、個々の力量と目標に合わせた実技指導を実施しました。全員に対して基礎の重要性を教えながら、上級者については、「全国溶接技術競技会」や「宮城県溶接技術競技大会」での活躍を目標に、技能の習得に取り組みました。

INTERVIEW

ものづくりマスターと  
受講者が語る

# 「考える力」を身につけ、実践の繰り返しが 上達へとつながる実技指導

## 改善点を考えて実践すれば どんどん仕事が面白くなる

工業高校の教師や生徒達への指導をきっかけに、本格的に指導者としての道を歩むようになった遠藤マスター。最も身につけてもらいたいのは、「考える力」だと言います。

遠藤 溶接に限らず技能者は、何も考えずにただ仕事をしていただけでは、なかなか上達しません。溶接をしながら「こうすればもっと良くなるのではないかと仮説や疑問を持ち、考えたことを実践することが大切です。その繰り返しが技能向上へとつながります。すると溶接の仕事が面白くな



り、指導が終わってからも自ら努力するようになるのです。その好循環を生むために、「考えること」については重点的に意識づけを行うようにしています。

今回受講した荒井さんと杉山さんは、実技指導の効果を早くも実感しているようです。

荒井 遠藤マスターには、「まず自分でやってみなさい」と言われています。そして、私が自分なりに考え試行錯誤していると、「ここをもうちょっとこうすればいい」と具体的なアドバイスをくれます。その通りにやってみると、どんどん自分が求めていたものに近づいていくのです。マスターに教わるたびに溶接が楽しくなってきました。こんな経験は今までなかったことです。

杉山 私は入社して間もないこともあり、基礎をしっかり指導していただきました。遠藤マスターは、それぞれの受講者に合った方法で指導してくれます。分からないことも沢山ありましたが、いつもコ

ミュニケーションを取って質問をしやすい雰囲気を作ってくださいました。

## 受講者それぞれが目標を設定し それに向かって努力する

今回の受講者は、溶接初心者と上級者が混在していました。それぞれのレベルに応じて学びを深めるために、マスターはどのような工夫をしたのでしょうか。

遠藤 まず各自で実際に溶接をやってもらい、その技能や癖、性格などをもとに、「この人にはこういう指導が最適ではないか」と判断します。それに基づいて一人ひとりに合った指導を心がけます。同時に、それぞれに明確な目標を設定してもらいます。目標に向かって努力することで、上達のスピードも早くなるんです。

荒井さんと杉山さんも、マスターと話し合いながら、それぞれ具体的な目標を設定しました。

「考える力」を身につければ  
上達は早くなる。そのための  
意識づけを重視しました

マスター的確な  
アドバイスによって自分の  
求めていた溶接ができました

一人ひとりに合わせた指導で  
経験の浅い私は溶接の基礎を  
しっかり学ぶことができました



ものづくりマスター  
(電気溶接)  
えんどう やすお  
遠藤 保夫さん



株式会社サイユキ  
あらい しのぶ  
荒井 忍さん



株式会社サイユキ  
すぎやま なおや  
杉山 直也さん

荒井 私は、JIS溶接技能者の更新試験を100点満点で合格したいと考えたのをきっかけに、技能向上に取り組むようになりました。以来、様々な試験や大会などにチャレンジしています。今回の受講では、「全国溶接技術競技会」での入賞を目標に掲げました。高いハードルですが、何とかクリアしたいと思って頑張っています。

杉山 学校で溶接を学んではいましたが、実際に業務の中で行うのはとても難しいものです。それだけに、この機会にしっかりと溶接の技能を身につけたいと考えました。そこで遠藤マスターと話し合い、直角の板同士を接合する「隅肉溶接」、二枚の板に開先(V字の溝)を設けて行う「突合せ溶接」の上達を今回の目標に据えました。マスターの親身な指導のおかげで、目標に近づきつつあると感じています。

## 自分が学んできた技能について 正しかったのか確認するチャンス

遠藤マスターは、平成20年度「卓越した技能者(現代の名工)」として表彰され、平成23年には「黄綬褒章」も受章しています。

遠藤 溶接の技能に注目が集まり、その裾野が広がれば良いと思って取り組んで

きた結果です。受講者が成長して、目標を達成するのを見るのは何物にも代えがたい喜びがありますね。ものづくりマスター事業は素晴らしい仕組みなので、今後も多くの皆さんを指導したい。そのために、私自身も溶接技能者としてさらに向上していきたいと思っています。

荒井さんと杉山さんは、今回の講習の成果をどう受け止めているのでしょうか。

荒井 現代の名工でもある遠藤マスターの指導を受けられたことは本当に貴重な機会となりました。これまでに自分が身につけてきたことは本当に正しかっ

たのか、それを確かめる振り返りにもなりました。人から言われて学ぶのではなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持てば、必ず成果が現れることを改めて実感したところです。遠藤マスターの言葉を胸に、今後も努力を続けていきたいと思っています。

杉山 今回の実技指導は、私に大きな刺激を与えてくれました。遠藤マスターの溶接は自分とは比較にならない異次元の技能レベルでした。今後は資格取得にもチャレンジして、マスターの技能に一步でも近づきたいです。また、いずれは後輩の指導などにも携われるようにしたいと思っています。



## ものづくりマスター 遠藤 保夫さん

平成25年度 厚生労働省「ものづくりマスター(電気溶接職種)」認定  
指導内容

被覆アーク溶接・半自動溶接・ガス溶接など溶接全般の基礎的及び専門的な技能についての指導や特別安全教育の指導

### 技能指導の実績

企業向けの電気溶接(TIG溶接)の基礎的な知識・技能の習得  
高校向けの被覆アーク溶接の知識・技能の習得など

「現代の名工」として表彰され、黄綬褒章も受章している遠藤マスター。溶接の裾野を広げるべく様々な場で指導を続けてきました。「考える力」を重視し、受講者が明確な目標を持つように指導しています。常に受講者とのコミュニケーションを大切に、一人ひとりの成長に合わせた指導を徹底している姿が印象的でした。